

第 7 回 羽村市産業振興計画懇談会 会議録	
日 時	令和 3 年 12 月 3 日 (金) 午後 2 時～午後 4 時 05 分
会 場	羽村市役所 特別会議室
出席者	<p>会長 中庭光彦、副会長 梅津 潔</p> <p>委員 林 聖子(リモート参加)、秋吉勝久、小島昌夫、矢部 要、木下智之、加藤芳秋、宮川陽一、池田恒雄、清水亮一、新岡 健、大野英一、芳賀啓一(リモート参加)、大谷 聡、山本貴彦、久保田 聡、須崎数正、早野和則、青島利久、福田礼彦、北原耕一</p> <p>事務局 産業環境部長、産業企画課長、産業企画係長、産業振興課長、商工観光係長、農政係長</p>
欠席者	阿部慎也
議 題	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 議事 (1) 第 6 回産業振興計画懇談会会議録の確認について (2) 羽村市産業振興計画懇談会提言について</p> <p>3 その他</p>
傍聴者	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 6 回羽村市産業振興計画懇談会 会議録 (案) ・ 【資料 1】 羽村市産業振興計画懇談会提言 (案) ・ 【参考資料】 現行計画 P43 工業振興の体系図
会議の内容	<p>傍聴の確認 (事務局) 本日の会議には、傍聴希望者はいないことを報告する。 (会長) 傍聴希望者はいないとのことなので、早速、会議を始める。</p> <p>1 会長挨拶 今回で第 7 回となる。本日は、本懇談会の提言書を確定することとなるため、円滑な進行にご協力いただき、活発な発言をお願いしたい。</p> <p>2 議事 (1) 第 6 回産業振興計画懇談会会議録の確認について (会長) 早速議事を進めていく。議事の 1「第 6 回産業振興計画懇談会会議録の確認について」を議題とする。事務局から説明を求める。 (事務局) 本懇談会の会議録の作成及び公開については、会議録は要点筆記、内容は委員に事前に確認いただいたうえで、会議に諮ってから公開することとしている。第 6 回会議録は事前に配布しているが、時間が無い中で確認が十分でない委員も多いと思われるので、修正等の必要があれば、12 月 9 日 (木) までに事務局へお知らせいただくこととしたい。 また、前々回、第 5 回の会議録について、前回の会議後にご意見はなかったため確定とし、市の公式サイトなどにより公開していくこととしたい。 (会長) それでは、第 6 回の会議録については、ご意見があれば 12 月 9 日 (木) までに事務局へ知らせていただくこととして、前々回、第 5 回の会</p>

議録は確定したものとする。事務局において公開を進めてください。

(2) 羽村市産業振興計画懇談会提言について

(会長) 続いて、議事の2「羽村市産業振興計画懇談会提言について」を議題とする。事務局からの説明を求める。

(事務局) 【資料1】説明

前回示した資料に、委員の皆様の意見を反映し、提言案を作成した。本提言案には、産業振興の基本となるテーマ、それを踏まえた施策の方向性、各分野の現状と課題、施策提言と、委員の皆様から挙がったご意見を各分野でまとめた施策のシーズを記載している。

(会長) 事務局からの説明が終わった。本日の議題は、この提言案を確定することのみである。ここに書かれている「施策のシーズ」は、今後、計画を策定していく際の材料とするものとして記載されており、事務局ではこれらの意見を取捨選択し、優先順位をつけながら計画を策定していくこととなる。委員の皆さんには、この資料に発言された意見が反映されているかどうかをチェックし、表現は適切か、不足はないか等を精査していただきたい。ご意見をお願いします。

(委員) 前回も意見したが、提言の中に横文字が多いので、市民にも分かりやすい表現としてほしい。また、「支援する」という表現が多いが、何を「支援する」のか分かりにくい。具体的に記載してもらいたい。

(会長) この提言は市民も目にすることをふまえ、わかりにくい横文字は使わないようにすることが必要。一方、「ウィズコロナ」など日本語に直しづらい単語もある。常識的に判断して、できるだけわかりやすい言葉で表現してほしい。また、確かに「支援する」のは誰なのか、主体が分かりにくい。計画ではもう少し明確に記述するのではないかと思うが、この提言にどこまで書くのかは難しい。この段階では、「支援する」とあるのは「行政が支援する」意味と受け取って良いのではないかと思うが、いかがか。

(委員) やはり、もう少し踏み込んで具体的に記述したいと思う。

(会長) この提言の位置付け、意味合いなど、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 「提言(案)」は、懇談会での意見を集約して作成し、市に報告をいただくものであり、この「提言(案)」を参考にさせていただいて、計画を作っていくこととなる。計画には、今回、参考資料として示しているような施策や施策の展開などを、具体的に示していく考えである。そのため、事務局の考えとして、本日、議論いただきたい「提言(案)」は具体的な内容までは踏み込まない形で作成しているものである。

(会長) 具体的な内容については、次回の計画案で確認していただくこととして、これは「提言(案)」と表現しているが、実質的には計画に反映させるための、これまでの会議での発言をとりまとめたものである。ご意見はいかがか。

(委員) 先程からの意見にあるように、「施策のシーズ」には具体的な意見があるのに、提言には特徴ある記述がほとんどない。懇談会には、「連携」「支援」「ブランディング」などの最初から出ていたキーワードに対する具体的な提言が期待されているのではないか。シーズの中から取り上げら

れるものがあれば積極的に提言に入れないと、シーズは計画の段階で参考にするというのでは寂しく感じる。特に観光分野には、羽村市の観光をPR するような新たな言葉が無い。そういう意味でも、もう少しシーズにある具体的な意見を盛り込むことを要望する。

(会長)「この懇談会として、『提言』にはもっと特徴のあるものをメッセージとして出すべきではないのか」という意見と思う。一方で、「提言」と「計画」の違いにおいて、この懇談会では「提言」としてどの程度までまとめれば良いのか、再度、事務局に詳しい説明を求める。

(事務局) 繰り返しになるが、「提言」とはこの資料全体であって、各分野のページの枠内の「提言」として表記している部分のみを指すのではない。

「施策のシーズ」も含めて「提言」として位置付けている。これまでの議論の中でいただいた意見は「施策のシーズ」として記載しているが、一つひとつの意見については議論を深めておらず、一定の結論や意見の集約を得たものばかりではないと考えている。そうしたことから、枠内の「提言」の文章は、それらを最大公約数的に集約して記載している。この文章だけを見ると「具体性がない」ということになるかもしれないが、具体性は「施策のシーズ」に記載し、これまでの議論の中から「基本となるテーマ」、「施策の方向性」を抽出して作成している。ご理解いただきたい。

(委員) 枠内の「提言」にある内容のごく当然の内容で、これまでの議論がこれだけだったのかという思いがある。議論の中で出てきた新たな内容が感じられない。「施策のシーズ」に良い内容が沢山あるので、これらをブラッシュアップするなり分解するなりして、盛り込まれていなければ「提言」にならないのではないのか。

(事務局)「枠内の『提言』が従前とあまり変わらない」という意見だが、これまでの議論の中でも、関係団体のヒアリングやアンケート、各種データなどを見て、これまでと変わらない課題も少なからずあり、その認識は共有できていると思っている。そうした中で、時代性や環境変化などは取り入れて表現している。皆様からの意見は「施策のシーズ」に記載しているが、これだけ多くの意見からいくつかをピックアップするという事は、違う方向性の意見もある中では大変難しい。そうしたことから、枠内の「提言」は、事務局では最大公約数的な文章で記載したと考えており、一部に文言の整理や分類をしているが、これまでの議論や貴重な意見を今後に活かしていくために、「施策のシーズ」としてこのような形で記載し、「提言」として作成しているものである。

(委員) 例えば「デジタル化」でも、もう少し踏み込んで、羽村市の中でデジタル化をどう進めていくのか。どの部署が、どうインフラを整備して提供していくのかなど、踏み込んで「提言」に記載できないか。もう少し具体的なテーマがほしい。もし目標を「日本一を目指す」とするならば、そのためにはどうすれば良いのか、そういったことを「提言」の中に入れていきたいと思うが、どうか。

(事務局) そうした具体的なことは、今回参考資料として配布した「施策」 「施策の展開」として計画の中で示していきたいと考えており、「提言」は敢えてこうした形でまとめている。この「提言」をふまえた計画とする

ためのものということをご理解いただきたい。

(委員) 具体的な内容でなくても、目標として、例えばデジタル化で、羽村市がどの程度を目指そうとするのかの記述がほしい。例えば「都内で一番進んだデジタル化の整備をする」とか、もう少し具体的な内容を含めた目標としたい。デジタル化の必要性は、この会議でも多くの委員の方が発言しているので、それを集約して、どこに対してデジタル化が必要なのかなど、大きな目標が必要と思う。

(委員) それぞれの分野から選出されている委員に意見を聞いた方が具体的な議論になると思うが、どうか。

(委員) 提案だが、枠内の「提言」にある「支援」などの言葉が具体的でなく分かりにくいという点は、枠内の「提言」の文章と「施策のシーズ」にそれぞれ付番し、つなげる工夫をすれば解決するのではないか。

(会長) いったん議論を整理したい。委員の皆さんの意見は「施策のシーズ」に具体的に記載されている。この具体性については皆さんに合意いただけると思うが、よろしいか。

—意見なし—

(会長) ここまでは合意を得たことを確認する。「施策のシーズ」は具体的であるが、その上の枠内の「提言」となると抽象的で分かりにくくなる。改めて、羽村市の産業振興を担っていく主体は誰なのかと考えると、言うまでもなく地元の方々である。そうすると、提言には「できること」を書いていく必要がある。これをどうしていくか、意見をいただきたい。

(委員) 枠内の「提言」には分野ごとにいくつかの項目があるが、「これらを行うための部署を設ける」「懇談会を設ける」などが含まれていれば「提言」になるのではないか。

(委員) 枠内の「提言」が抽象的だということであれば、それを削除し、「施策のシーズ」を「懇談会の意見」などとして分野別に整理することを提案する。「施策のシーズ」の中でも抽象的なものは省くことも必要。

(委員) これは市長に提言するということか。事務局は従前どおりの手法に拘っているように見える。

(会長) 今、「こういうことをやるべき」ということを追加していくという提案と、そもそも枠内の「提言」を削除するという提案が出ている。事務局に質問するが、「提言」を削除してしまうと、計画策定ができなくなるのではないか。

(事務局) 計画の策定にあたっては、懇談会の「提言」をふまえて、大きな方向性や目標から、具体的な施策の展開に落とし込みたいと考えている中で、懇談会からの「提言」が無いということになると、懇談会の議論とは別に、事務局で方向性や目標を考えていくことになってしまう。やはり、これまでの懇談会の議論や意見を集約した形の「提言」として、これまでの成果を生かしていただきたいと考える。

(会長) 会長として提案する。提案があったように、5つの分野にある枠内の文章を見直し、不足の部分を追加するなどして「提言」に見合う形とすることではいかがか。

—異議なし—

(会長) では、まず4ページ、工業振興への提言の部分について、意見ををお願いします。

(委員) 全分野に関わるが、「羽村らしさ」がどこに出ているか。「羽村らしさ」をシーズの中からピックアップして、追記してはどうか。

(会長) 「羽村らしさ」を出すには、具体的にどう直したら良いか決めていきたい。ご意見ををお願いします。

(副会長) 私はこの内容で良いと考える。工業関係者の中では、「羽村市の支援は手厚い」という声を聞く。この提言にある「支援」が、どう具体的に計画に反映されるのか、期待を持っている。

(会長) 製造業が多い羽村市だが、工業の提言に「羽村らしさ」はあるか。

(副会長) 「羽村らしさ」が難しい。

(委員) 枠内の「提言」というタイトルと文章の表現がそぐわず、分かってにくくなっているのではないかと。懇談会から市への提言であるので、文章を整理してはどうか。1点目の文末は「～きめ細かい支援を行う」ではなく「～きめ細かい支援が必要ではないか」、2点目は「～積極的に取り組む」ではなく「～積極的に取り組むべきではないか」、3点目「～積極的に支援する」ではなく「～積極的に支援する必要があるのではないか」というような、懇談会が市へ投げかけるような表現にすると、提言として整理できるのではないかと。

(会長) 文章を整理して、求める形にしてはどうかという意見であった。これに対して、いかがか。

(委員) いずれにしてもわかりやすい形で作成してほしい。

(委員) 4点目に「～などの自動車の新技術」とあるが、自動車関連の例示があるので、「自動車の」を削除して「～などの新技術」としてはどうか。

(副会長) 「羽村らしさ」という意味では、あっても良いか。

(委員) 文中に自動車の例示が複数あるので、削除して良いと考えるが。

(会長) 確かに例示がある。では、「自動車の」は削除することとする。

(委員) 分野ごとのリード文に、例えば、産業分類上で羽村市にはどの業種が多いかなど、分析の記述を入れると、「羽村らしさ」が出るのではないかと。枠内の「提言」は、先ほどの意見のとおり、文末を提言らしい表現にしていくのが良いと思う。また、「施策のシーズ」には多くの記載があるが、実行できるものを述べていくことが重要と思う。短期的に取り組むことと、中・長期に取り組むこととを分けて、特に短期的に取り組む内容には担当する部署も明記すると提言らしくなると感じる。

(会長) これは提言であるので、短期、中・長期という目標と、担当部署は計画に明示することではどうか。

(委員) それで構わない。

(会長) ほかにご意見ををお願いします。

(委員) 提言を受けて市が実行計画を策定することになるので、この提言は、懇談会の中で出た「今後、羽村市をどうしていきたい」という要望がまとまっていれば良いのかと思う。「羽村らしさ」は、日野自動車を中心とした西東京工業団地に工業が集積しているということではないかと感じている。

(会長)「工業振興への提言」について、短期、中・長期の時間軸と担当部署については計画での記載でも良いということなので、ここでは要望をしっかりとめていくことが肝心であるということにしたい。枠内の「提言」はこの内容で良いか。

(委員)最後の行に「～機能をもつ体制の整備」とあるが、具体的に何を指しているのか事務局に確認したい。

(事務局)これまでの議論に何度か出てきた「コンシェルジュ機能」、羽村市独自の「企業活動支援員制度」などを含めて表現しているが、わかりやすい表現となるよう工夫する。

(委員)承知した。

(会長)「連携機能」など、わかりやすい言葉で表現してほしい。

ほかに意見が無いようなので、「工業振興への提言」はこれで進めていくこととする。

続いて、「商業振興への提言」である。工業と同様、文章の整理は必要である。内容へのご意見を願います。

(委員)『「羽村らしさ」を生かした逸品』だけでなく、羽村市の商業構造についても議論した。個店、商業の方向性をどうしていくのかという点は「施策のシーズ」に出ているので、提言に盛り込んでほしい。また、商業では「デジタル化」にあまり触れられていない。ネットワーク化も含めて、もう少し記述したい。

(会長)どのように表現したら良いか。

(委員)「施策のシーズ」の2点目に関連する記述がある。これを分かりやすくして記載してはどうか。

(委員)これは、コロナの時代において、一般的なデジタル化、キャッシュレスについての意見であり、10 ページ「●販路・施設・インフラ整備」の1点目に、「ECの戦略的な活用」についても合わせて意見を出した。これをふまえて枠内の「提言」を見ると、確かにデジタルの要素が少ないと思う。修正案として、1点目に「～・サービスの開発（デジタルを使ったキャッシュレス、EC）、業態転換～」など、例示として追記すると、商業の分野でもデジタル化に取り組む個店を支援することが必要であるという、具体性のある提言とできると思うが、どうか。

(会長)デジタル化については、これで良いか。では、個店についてはどうするか。「施策のシーズ」にあるか。

(委員)枠内の「提言」の2点目「消費者に選ばれる魅力ある店舗」、3点目「事業承継」に、個店をどうしていくか、大事にする、育てていく重要性というような意味が読み取れる。この中に含まれていると考えれば、このままでも良いか。

(会長)個店については、この表現のままでも良いのではないかという意見があったが、どうか。では、デジタル化についての部分を追加し、あとはこの表現のままとする。

それでは、「商業振興への提言」は以上の点と、文末を提言として整理する修正を行うこととしてまとめて良いか。

－意見なし－

(会長) では、「商業振興への提言」はそのようにまとめる。

続いて、11 ページ、「農業振興への提言」について、意見を願います。

(委員) 農業者としては、枠内の「提言」には様々な点で「支援」とあり、「施策のシーズ」には多岐にわたるアイデアがあるので、この中から実現される施策があることを期待し、特に修正点はない。「施策のシーズ」の中で1点質問する。13 ページ「●販路拡大」の4点目にある「はむ宅」とはどういうものか説明願いたい。

(委員) これは、商工会青年部の飲食業が取り組んでいる事業で、現在、5店舗が参加している。配達市内牛乳配達業が担っている。既に市内に配達する仕組みがあるので、農産物の販売も合わせてできれば効率的と考えたので意見を出した。

(委員) ありがとうございます。やはり、販路拡大は一番の課題であるので、考えていきたい。

(委員) 意見のあったとおり、枠内の「提言」が抽象的になってしまうのは、ある程度やむを得ないと考える。「施策のシーズ」も合わせて提言されるということなので、案のとおりで良いと思う。

(委員) 「羽村らしさ」の記述はないが、農業については「羽村らしさ」は明記しなくて良いと考える。宅配については、過去に検討したことがあるが、取り入れられなかった経緯がある。

(会長) 「羽村らしさ」の記述が無いことについては、1点目の「農業が魅力ある産業として継続して営まれるよう～」の部分具体的に解釈していくということで良いか。

(委員) 良いと思う。

(委員) 貴重な都市型の畑や水田を、農業者だけでなく市民全体で持続的に維持していくという意見も出ていたかと思うので、提言に盛り込んでもらいたい。

(会長) ただ今の意見について、提言に入れるか、入れないか。入れるとしたら、どういう表現になるか、ご意見を願います。

(委員) 現在、市内に緑や水田、畑が残っているのは、所有者個人の努力によるもの。農業だけでなく、他の産業も同じだが、きれいごとではやっていけない。「支援する」と書いてあるが、当事者としては、具体的に何をしてくれるのかが知りたい。

(会長) 現状、農地は所有者自身が守っている。それを市民に利用できるようにしようとする、土地を共有にする、市が買い取るなどしたうえ、管理していかなければならないが、市民の利便性や観光に活用するために、そういう転換をするかどうか。そういうことを市ができるのか。今のご意見はそのような意味で良いか。その意味をふまえ、そうしたことを是非やってほしいという意味で提言に入れるのか、入れないのかという話になってくる。

(委員) 「羽村らしさ」をそうした意味で捉えているとするならば、農業分野には入れない方がわかりやすいと考える。

(会長) この提言の中で、農業者の生業と市民が考える「羽村らしさ」をどう住み分けるのか。商業分野では「羽村らしさ」を出しているが、農業分

野ではどうするかという問題。ここで結論を出したいと思うがどうか。

－意見なし－

(会長) 農業者の方から意見が出ているので、農業分野には「羽村らしさ」は入れないこととしたい。枠内の「提言」の1点目、「農業が魅力ある産業として継続して営まれる」ことが非常に重要で、時代による変化に適応していかなければならず、これに「実効性のある支援に取り組む『べきだ』」というように、文末はすべて同様に表現の整理をしてまとめたいが、いかがか。

－異議なし－

(会長) では、そのように整理する。

(委員) 1点、事務局に確認したい。枠内の「提言」4点目、「新たな取り組み」とは、リード文の下から4行目にある「生産性の向上や付加価値の創出、～」を指しているということの良いのか。

(事務局) そのとおりである。リード文に挙げている内容のほか、議論の中で意見のあった農業高校などとの新たな連携や、これまでにない取り組みを含め、「新たな取り組み」と表現している。

(会長) 続いて、15 ページ「観光振興への提言」について、ご意見を願います。文末の整理はこれまでと同様に行うので、内容についていかがか。

(委員) 観光協会で行っている具体的な事業などはあるが、提言としては、このままで特に問題ないと思う。

(委員) 今の意見のとおりだが、「既存の『羽村らしさ』」はよくわからない。

(会長) 観光分野においては「羽村らしさ」を出していかないとブランディングにならないのでは。

(委員) 提言に書いてあることは、既にほとんど取り組んでいる。「羽村らしさ」という言葉ではなく、行動には移している。イベントや既存の観光資源の活用、広域との連携強化も取り組んでいるので、改めて取り上げなくても良いのではないかと思う。その点を除けば、「観光振興への提言」はこれで良いと思う。

(会長) 商品やサービスのブランディング、特徴あるスポットや食べ物などの情報発信に関する意見も出ていたのでは。そうしたことも提言に含まれているということが良いか。

(委員) 具体的な活動は行っているが、観光振興は観光協会だけではできないので、ネットワークを広げていくことが大切と考えている。「提言」としてはこの内容で良いと思う。

(会長) 今の意見は、枠内の「提言」5点目「他の産業分野や広域との連携を積極的に進め～」に含まれているということが良いか。

(委員) 結構である。

(会長) それでは、「観光振興への提言」について、この内容として良いか。

－異議なし－

(会長) では、「観光振興への提言」は、文末の表現を変えることとして、この内容とすることで合意したこととする。

続いて19 ページ「産業分野間にまたがる事項への提言」について、意見を願います。

(委員)「工業振興への提言」の最後に記述されている、「コーディネート機能をもつ体制の整備」、意見のあったコンシェルジュ機能についてなどを盛り込みたい。

(会長) 具体的に、どう表現するか。

(委員)「人材・マッチング・補助金等の情報を集約し、発信していけるコーディネート機関をつくるべき」としてはどうか。

(会長) これを追加することについてはよろしいか。

－意見なし－

(会長) では、追加することとする。ほかにご意見はいかがか。

(委員) 3点目が抽象的で、内容が乏しいと思う。また、すべて産業を中心に分類しているので、市民向けの施策を1項目追加するような意見があったと思う。例えば20ページ「●基盤整備」に書かれている内容からまとめた提言がほしい。

(会長) 具体的に、どう表現するか。

(委員)「●基盤整備」の3点目はぜひ取り上げてもらいたい。3年後はこういう時代になると思う。市域が狭い羽村市の特徴を生かせば、他市町村に先駆けて、すぐにでも展開できる施策と思う。また、羽村駅西口土地区画整理事業が進んでいないが、ここをどうするかという意味においては、例えば多摩川の観光につながる道路の整備は、市民にとっては重要な柱だと思う。

(会長) 今のご意見は、提言の表現にすると「自動運転システムのタクシー・バスを走らせ、生活に必要な施設間の定期運行を行う『べきだ』」となるが、産業政策の文脈に落とし込むと、「中心市街地の中の交通をきちんと確保できるような支援をするべき」という、コンパクトシティの考え方で、それを羽村版としてやるべきだということか。商業分野では「商圈を広げないといけない」という意見が出ていた。そのような考え方でよろしいか。では、これを追加することはいかがか。中心市街地活性化の具体的な方策ということになるか。

(委員) 内容をもう一度確認したい。

(会長) 20ページの「●基盤整備」の3点目、「自動運転システム」と言い切ってしまうと限定されてしまうので、これを少し整理する。「自動運転システム『等』のタクシー・バスを走らせ、生活に必要な施設間の定期運行を行う『べきだ』」という表現になると思うが、これで良いか。

(委員)「べきだ」では表現が強い。そういう社会環境を整備してもらいたいということ。

(会長) では、「整備を考えるべきである」とする。

(事務局) 事務局では、3点目「中心市街地活性化などの都市基盤整備」にそうした意味合いも含めて記述している。これをもう少し具体的な表現とするようご検討いただきたい。「自動運転システムの～」という記述になると、他とのレベル感が揃わないと考えるので、3点目を修正する形で議論いただきたい。

(会長) 提言に「中心市街地活性化」を挙げるのは当然と考える。この後に自動運転はともかく移動について、公共と、公共だけではないのかもしれ

ないが、「移動の手段も確保すべきである」という言い方にすれば、ほぼ意味合いは同じかと思うので、そういう言い方にしたいと思うが、よろしいか。「自動運転」と言い切ってしまうことには懸念がある。

(委員) 5年間の計画であれば、言い切って良いのではないか。

(会長) 計画期間は5年だが、自動運転の実現は5年では難しいのではないか。

(委員) これまでと同じ意見になるが、全体的に、懇談会で議論した新たなキーワードが提言にほとんどない。懇談会に参加していない人が見た時に、多少はインパクトがあるようにしたい。「中心市街地活性化などの都市基盤整備」としか書かれていないのはどうなのか。

(会長) 中心市街地活性化の文脈で、その後に「移動」について追記しようとしているが。

(委員) その時に、どういう社会環境かというイメージが、「自動運転システム」とあれば、わかっている人はまちのイメージが浮かぶ。単に必要なところにバスを走らせるということでは、コミュニティバスはむらんと何が違うのか、という話になる。

(会長) では、「自動運転システム『等』』としてください。交通圏と商圏を確保することは重要であるので、中心市街地活性化の文脈で入れることとする。ほかに意見はあるか。

(委員) 全体を通して、この提言で気になったのが、全部文字だけであること。「産業振興の基本となるテーマ」の前あたりに、提言の全体像としての図があった方が分かりやすいと思うが、いかがか。「産業振興の基本となるテーマ」があって、その下に「工業振興への提言」や「商業振興への提言」があるという、一目見て、この提言にはどういうことが盛り込まれているかがわかるような図があると良いと思う。前回示された資料のようなもので、文字はもっと少なくして、提言の全体像が図になっていると分かりやすく、インパクトがあり、具体的な施策に盛り込まれていることが分かる。前回の資料を工夫して作成してはどうか。

(会長) この提言を図にまとめていくのは非常に大変であると考えられる。次の段階となる計画には、当然、図が入ると思うので、提言ではなく、計画に分かりやすい図を載せるということではどうだろうか。

(委員) それでも良いと思うが、やはり提言としても、一目で全体像が分かるものがあって良いのではないかと思う。

(会長) それでは、前回示した図を工夫して載せるというのが最善の方法かと思うが、いかがか。

－異議なし－

(会長) では、そのように事務局にお願いする。ほかに意見はいかがか。

(委員) 5点目の、「～産業への市民理解の促進が進み」について、まず「促進が進み」は意味が重複していることと、「産業への市民理解」では、産業を市民に理解してもらおうという雰囲気を感じるので、「産業と市民の相互理解が促進され」とするのが良いのではないか。

(会長) ほかに意見は無いか。

－意見なし－

(会長) それでは、委員の皆さんの意見は大方これで盛り込めたのではないかと思います。確認した部分を事務局に修正してもらいますが、これについては会長、副会長に一任いただき、修正後、これを本懇談会からの提言として市長に報告することとしたいが、よろしいか。

－異議なし－

(会長) それでは、とりまとめを事務局で進めてください。

本日予定されていた議事は、これで全て終了した。円滑な進行へのご協力ありがとうございます。それでは進行を事務局へ戻します。

3 その他

(事務局) 事務連絡（次回会議日程確認）

それでは、これで本日の会議は終了とさせていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。